

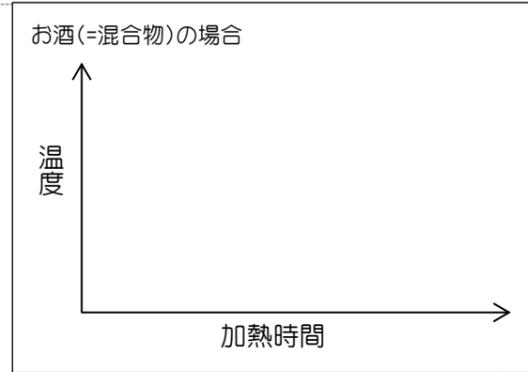
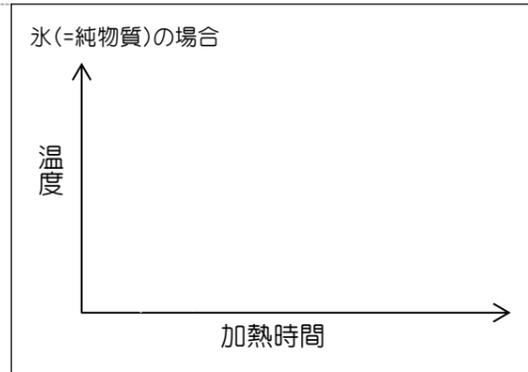


第1章 <物質の構成と化学結合>

1 純物質と混合物

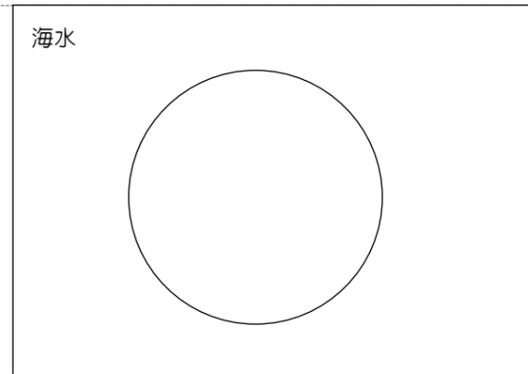
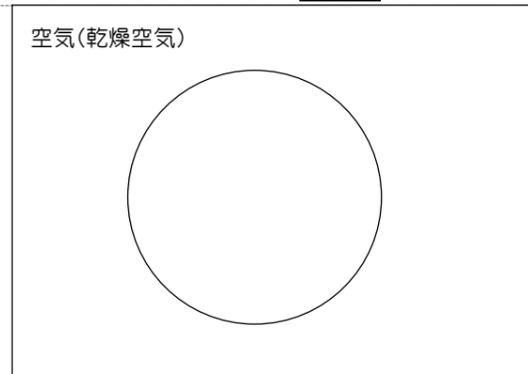
(1) 物質 = { } →

① 純物質と混合物の違い(状態変化における温度変化)



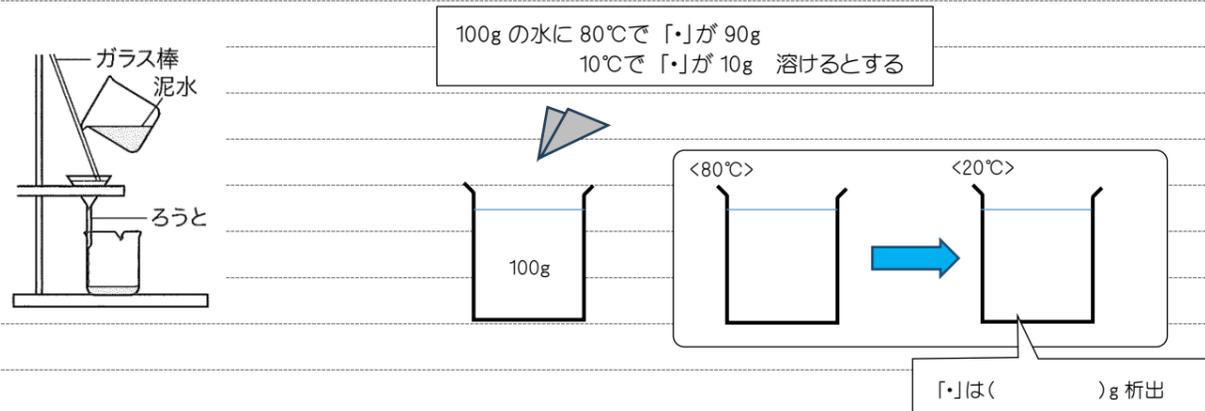
※上記の変化は1気圧(=1.013 × 10⁵ Pa)の場合

② 代表的な混合物の組成 教 P.19



2 物質の分離と精製

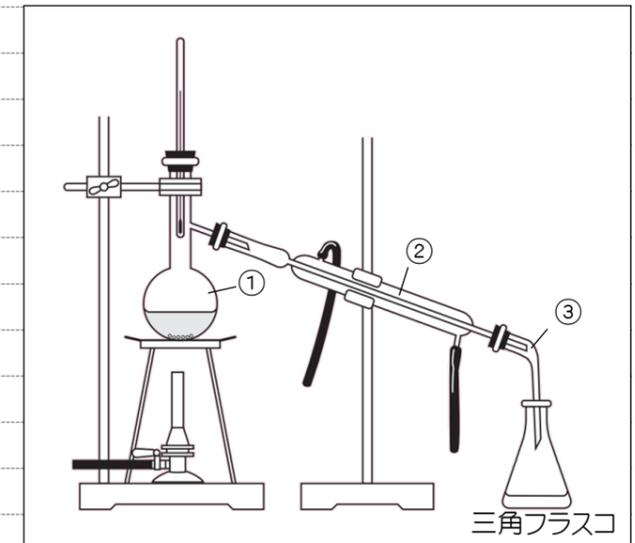
(1) (2) 温度による溶解度の違いを利用して、分離(=)



(3)

- ①
- ②
- ③

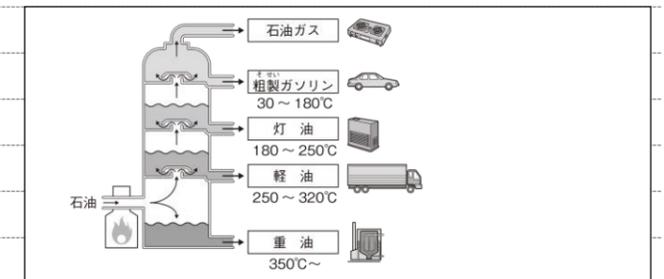
※ 注意点(P.21を確認)



(4)

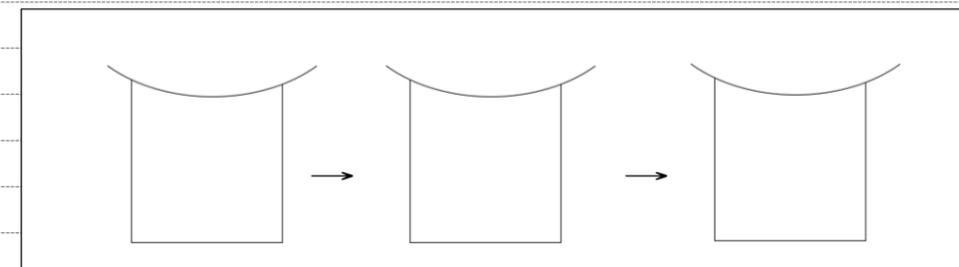
<例> 空気学分留

<例> 石油の分留



(5)

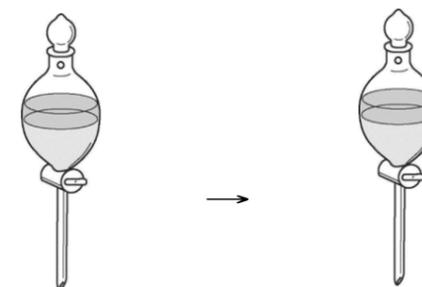
<例>



(6)

(7)

分液ろとによる抽出



実習 ペーパークロマトグラフィー

結果をここにはる

例題 1 混合物の分離法

次の①～④の分離操作の名称として最も適当なものを[A群]から、実験操作として最も適当なものを[B群]からそれぞれ選べ。

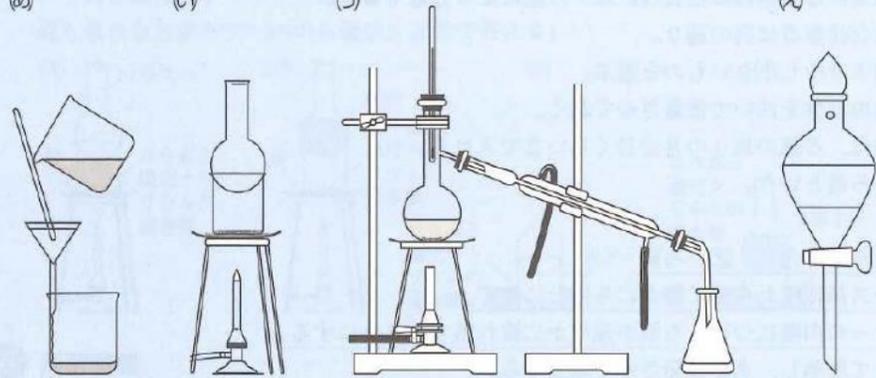
- ① 食塩水から水を分離する。
- ② 砂が混じったヨウ素の中からヨウ素を分離する。
- ③ 塩化銀の沈殿を含む水から塩化銀の沈殿を分離する。
- ④ 牛乳の中から乳脂肪分を分離する。

[A群]

- (ア) 再結晶 (イ) 昇華法 (ウ) 蒸留 (エ) 抽出 (オ) ろ過

[B群]

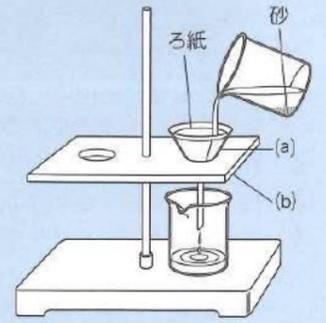
- (a) (b) (c) (d) (e)



例題 2 混合物の分離の実験操作

右図は、砂の混じった食塩水から砂を取り除く操作を示したものである。次の各問いに答えよ。

- (1) 図の(a), (b)の器具の名称を答えよ。
- (2) 図のような操作を何というか答えよ。
- (3) 図の操作で正しくない部分が2か所ある。どこをどのように訂正すればよいか、答えよ。
- (4) ろ液から食塩を取り出すにはどうすればよいか答えよ。



Blank lined area for writing answers to the questions in Example 2.